

| | |
|--|--|
| <p>2. 事業の目的と概要</p> <p>To improve access to quality reproductive health services by promoting women's health throughout the life cycle in rural areas, JOICFP will establish a One Stop Service Site; a compound consisting of a maternity ward, maternity house, youth center and residence for midwives. Under this project, trainings for Safe Motherhood Action Groups (SMAGs) and Young Peer Educators (PEs), teachers, traditional leaders will be conducted for increasing health seeking behaviour.</p> | |
| <p>(1) 上位目標</p> | <p>プロジェクト対象地域において、若者や妊産婦を含む女性の生涯を通じた保健サービス利用へのアクセスが増加する</p> |
| <p>(2) 事業の必要性 (背景)</p> | <p>(ア) ザンビア共和国の開発ニーズ</p> <p>ザンビア共和国は南部アフリカ開発共同体 (SADC)、東南部アフリカ市場共同体 (COMESA) の主要メンバーであり、地域の政治経済的安定に貢献しているものの、経済発展に必要な道路や電力等の経済インフラ、及び医療・保健や教育等の社会インフラは未発達である。とりわけ地方の農村部の貧困率は高い。国連ミレニアム開発目標などの保健目標の進捗、特に妊産婦死亡率は 2010 年以降改善が進んでいない状況である。</p> <p>プロジェクト対象地区であるコッパーベルト州マサイティ郡とルフワニャマ郡では保健施設への距離が遠く、母子保健サービスを中心とした家族計画等を含む保健サービスへのアクセスが困難である。このため、ザンビアでの最大の課題は、農村地域での施設での出産の割合は 56.3%と、都市部の 88.9%と比較すると低い。さらに、合併症が起きても保健施設やレファラル (照会) 先の病院まで緊急搬送が間に合わず、出血多量や感染症などで亡くなるケースがある。</p> <p>十分な母子保健サービスや妊娠や出産、家族計画、性感染症などに関する適切な知識・情報が不足している。ザンビアの全人口の 59.5%が 20 歳以下であり、20 歳までに 65%が若年結婚している。さらに、18 歳までに 58%の女性が初体験を経験しており、十代の妊娠や望まない妊娠や出産も課題である。(出典：ザンビア人口保健調査 2013-14) 中には、妊娠や結婚により学校を辞めざるを得ない、あるいは両親が娘の早期結婚を望むケースなどもあり、思春期層の若者への啓発教育活動を強化する必要がある。</p> <p>(イ) 「持続可能な開発目標 (SDGs)</p> <p>本事業は、保健医療従事者の育成、草の根保健ボランティアである母子保健推進員 (SMAG) や若者ピア・エデュケーター (PE) による啓発教育活動の強化、妊産婦・新生児保健サービスの質の向上により、SDG3 に該当する妊産婦死亡率及び新生児死亡率の低減及び家族計画をはじめとするサービスの利用を促進し、SDG5 の性と生殖に関する保健サービスへのアクセスを向上させることに寄与する。また、SDG17 を見据えてさまざまな関係者・協力機関連携し、それぞれの強みを効果的に活用した連携協力を推進する。</p> <p>(ウ) 外務省の国別開発協力方針</p> <p>本事業は、「対ザンビア共和国国別援助方針」の重点分野 (中目標) として挙げられている、持続的な経済成長を支える社会基盤の整備の保健サービスへのアクセス改善と一致している。</p> <p>(エ) TICAD VI における我が国取組</p> <p>2016 年の TICAD VI の「ナイロビ宣言」の優先順位でもある「質の高い生活のための強靱な保健システム促進」のユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC)</p> |

と一致しており、母子継続ケアの推進に寄与する。また、民間セクター開発に明記されている官民連携や特に女性や若者の雇用創出に向けた活動促進とも一致する。2019年に予定されている TICAD VII では、昨年のナイロビで開催された TICADVI 同様に、本事業の発表報告の機会を企画する予定。

(オ) 申請事業の内容

本事業ではザンビアで積み上げた経験と学びを活かし、「女性の生涯の健康」の確保を視野に保健サービスの質の向上に取り組む。

- 郡保健局・郡教育局との連携のもと、学校及びコミュニティで、月経教育と統合させた少女のエンパワメント（能力強化）に向けた活動を行う。若者や妊産婦また女性特有の疾病（乳がん、子宮がん）の早期発見を目指した知識普及を含む生涯を通じた女性の健康づくりを目指す。（添付③：概念図）
- 地域の保健ボランティアによる活動の持続発展性に向け、前事業で制作した母子保健推進員（SMAG）ハンドブックを活用し、さらに本事業で若者ピア・エドゥケーター（PE）ハンドブックを制作し、保健省と連携を強化し、全国で汎用可能な研修教材とした活用を目指す。
- 事業の持続発展性に向け、郡保健局スタッフや保健医療従事者への指導者研修を行うことにより、母子保健推進員や若者ピア・エドゥケーターへの「行動変容のためのコミュニケーション研修」を彼らが実施し、保健ボランティアの継続活動のモニタリング支援体制を強化する。
- SMAG や若者 PE の活動モデル地への相互視察訪問や好事例・教訓を共有するワークショップを開催し、住民同士で学びあうことで住民のエンパワメントを図っていく。
- プロジェクトの持続性のためのコミュニティ主体による収入創出活動に、これまでシニア協力隊員（塩野義製薬所属）による技術協力を得てきたが、引き続き専門家として効果的なマーケティングの方法や収入支出計画などの技術的な支援を塩野義製薬の社会貢献活動の一環として連携協力する。また、ワンストップサービスサイトを拠点にしたコミュニティの健診促進予防活動や女性特有の疾患に関する啓発のための教材づくりなどを企業と連携推進し、さらなる自立発展を目指す。2016年同様、次の TICAD においても、企業連携と女性のエンパワメントをテーマに本事業の取り組みを紹介する予定である。

(カ) これまでのジョイセフの成果と課題

ジョイセフは、2014年12月より「NGO 連携無償資金協力」を得て、「妊産婦・新生児保健ワンストップサービスプロジェクト」をマサイティ郡及びムポングウェ郡において、現地 NGO 団体「ザンビア家族計画協会（Planned Parenthood Association of Zambia: PPAZ）」と協力して実施し、保健人材育成や保健施設でのサービスの質の改善に取り組んできた。保健医療従事者への研修及び草の根保健ボランティアとして、母子保健推進員（SMAG）や若者ピア・エドゥケーター（PE）を育成し、思春期保健や月経教育も含めた保健サービスへのアクセス向上を目指してきた。包括的な母子保健・新生児保健・家族計画等のサービスを目指し、施設での出産の重要性は広がり、プロジェクト対象 10 地区の保健施設で出産する女性の割合は、2014年の 37.4%から 2016年には 44.3%と増加した。（添付④：ザンビアレポート 2016）

一方で、十代の妊娠が課題である中、若者への啓発教育活動を実施してきたが、地域の若者だけではなく、学校の教師や地域の伝統的リーダー、両親への啓発教

| | |
|-----------------|--|
| | <p>育活動も重要であることが関係者への聞き取り調査で再認識された。さらに、ザンビア国保健省が 2016 年に改訂した SMAG のマニュアルには、「女性の生涯を通じた健康の確保」を目指し、乳がん・子宮がんの早期発見を目指した知識普及のための啓発教育活動も活動のテーマとして明示されているが、現場では十分に取組みしていない。</p> |
| <p>(3) 事業内容</p> | <p>■全体 ワンストップサービスサイトによる生涯を通じた女性の健康づくりを目指し、以下の戦略の下、事業を展開する。</p> <p>若者や妊産婦を含む女性が生涯を通して質の良い保健サービスを利用できるようにすることを目的に、既存の保健センターを拠点に、母子保健棟、マタニティハウス（出産待機ハウス）、ユースセンター、助産師住居・水タンク・渡り廊下を建設し、包括的に保健サービスを提供するワンストップサービスサイトを整備する。これまでの経験を活かし、新たに 6 地区（マサイティ郡 3 地区、ルフワニャマ郡 3 地区）で新規母子保健推進員（SMAG）及び若者ピア・エドゥケーター（PE）の育成研修を実施する。マサイティ郡 3 地区では、近年建設されたセメント工場で働く住民が多く居住し、人口が増加している地域である。地域での保健サービスのニーズは高まる一方で、保健施設まで一番遠い地域で 45km とアクセスの課題は大きく、SMAG は数名しかおらず、地域での啓発教育活動を行う必要性は高い。</p> <p>さらに、ザンビアで 4 番目に大きな面積を有するルフワニャマ郡は、ンドラから約 129km 離れており、プロジェクト地区は、ルフワニャマ郡病院から約 60km ～80km 離れているため、緊急の搬送が手遅れとなる。また、4 年程前に育成された SMAG は数名しかいないが、住民の保健活動への積極性は高く、保健医療従事者の住居を住民が中心となって建設している。そのため、ルフワニャマ郡東部の拠点として、ミベンゲ地区に初のワンストップサービスサイトを整備し、若者、妊産婦を含む女性の生涯を通じた保健サービスの拠点として、地域での保健サービスや情報提供を活性化させる。</p> <p>本事業では、郡保健局スタッフや保健医療従事者への指導者研修を実施することにより、指導者となる彼らが、SMAG や若者ピア・エドゥケーター（PE）を育成する。また、郡教育局との連携により学校教師や伝統的リーダーの育成、生徒の保護者などを含めたコミュニティでの啓発教育活動を強化し、月経教育を含む思春期保健、若年妊娠の予防を行う。さらに、郡保健局スタッフや地域の地区運営委員会によるモニタリング支援体制を強化させ、啓発教育活動を強化し、産前産後健診や施設での出産の促進、乳がん、子宮がんの早期発見を目指した知識普及活動を推進する。これまでの事業及び本申請事業の経験をもとに、CPPP（Community Public Private Partnership）によるコッパーベルト州全体での妊産婦・新生児・若者を含めたワンストップサービスサイトにおける生涯の女性の健康づくりの拠点ができる。本事業で行う活動経験が、他地域や他国にも活かされていくよう、最終年は州・郡保健局への引き継ぎとし、事業終了後も本事業の経験や仕組みが汎用・拡大していくことを目指す。</p> <p>■1 年次 (0) プロジェクト運営全体(毎年) (ア) プロジェクトスタートアップ会合 (イ) プロジェクト運営委員会（州保健局、郡保健局、郡教育局、ザンビア家族計画協会（PPAZ）、ジョイセフ）の開催(年 2 回)及び共同モニタリング</p> |

(1) 保健施設で提供する妊産婦を含む女性の生涯を通じた保健サービスの質の向上

(7) 保健医療従事者への「クライアント・ユースフレンドリーサービス研修」「モニタリング支援研修」

(マサイティ郡 3 地区+5 地区、ルフワニャマ郡 3 地区、ムポングウェ郡 5 地区の保健医療従事者 16 名)

(イ) ワンストップサービスサイト設置

マサイティ郡ンジェレマニ保健センターを拠点に、保健サービスを一カ所に集中させ、住民の健康に関するサービスや情報の拠点としてより活性化させ、ワンストップサービスサイトによる生涯を通じた女性の健康づくりを推進する。

・母子保健棟・マタニティハウス・ユースセンター・助産師住居・水タンク・渡り廊下の建設

・基礎的医療機材・医薬資材の供与

(2) 思春期、妊娠や出産、家族計画、乳がん・子宮がんを含む生涯を通じた女性の健康に関する知識と情報の啓発教育

(7) 母子保健推進員 (SMAG) 及び若者ピア・エデュケーター (PE) の養成研修 (SMAG : マサイティ郡 3 地区 90 名、ルフワニャマ郡 3 地区 90 名)

(PE : マサイティ郡 3 地区 60 名)

(イ) 学校教師・伝統的リーダーへのオリエンテーションの実施

(マサイティ郡 3 地区 15 名)

(ウ) 学校教師・保健医療従事者による保護者へのオリエンテーションの実施

(マサイティ郡 3 地区)

(エ) コミュニティ参加型ペインティングワークショップ・施設の維持管理&開所式 (マサイティ郡ンジェレマニ地区)

(オ) 地域啓発活動計画の策定及び行動変容のためのコミュニケーション教材の供与・制作・配布

・妊娠や出産に関する視覚教材の供与

・母子保健推進員ハンドブック・出産計画シート・月経冊子の増刷と配布

・若者ピア・エデュケーター (PE) ハンドブックなどの制作と配布

(3) 持続可能なコミュニティ主体の活動支援に向けたモニタリング体制強化

(7) 本邦研修

日本の母子保健の経験や地域の母子保健推進員 (SMAG) と行政の連携などの理解を深め、持続性に向けた活動計画を策定することを目的に実施する。(保健省 1 名、州保健局 1 名、マサイティ郡保健局 2 名、ルフワニャマ郡保健局 2 名、PPAZ2 名)

(イ) プロジェクト地区運営委員会のオリエンテーション開催

(マサイティ郡 3 地区、ルフワニャマ郡 3 地区)

(ウ) SMAG レビュー会合 (マサイティ郡 5 地区、ムポングウェ郡 5 地区)

(エ) ワンストップサービスサイト運営会合 (マサイティ郡ンジェレマニ地区)

(オ) 自立発展性のための相互視察研修 (マサイティ郡ムタバ地区、マサイティ郡 3 地区、ルフワニャマ郡 3 地区)

■ 2 年次

(1) 保健施設で提供する若者や妊産婦を含む女性の生涯を通じた保健サービス

の質の向上

(ア) 保健医療従事者への「行動変容のためのコミュニケーション指導者 (TOT) 研修」

(マサイティ郡 3 地区、ルフワニャマ郡 3 地区の保健医療従事者 6 名)

(イ) ワンストップサービスサイト設置

ルフワニャマ郡ミベンゲ保健センターを拠点に、妊産婦を含む女性の生涯を通じた保健サービスや情報を提供できる場として展開する。

- ・ マタニティハウス・ユースセンター・助産師住居・水タンクの建設
- ・ 基礎的医療機材・医薬資材の供与

(2) 思春期、妊娠や出産、家族計画、乳がん・子宮がんを含む生涯を通じた女性の健康に関する知識と情報の啓発教育

(ア) 若者ピア・エデュケーター養成研修 (ルフワニャマ郡 3 地区 PE60 名)

(イ) 母子保健推進員 (SMAG) 及び若者ピア・エデュケーターへのコミュニケーション強化研修

(SMAG: マサイティ郡 3 地区 90 名 & 若者 PE60 名、ルフワニャマ郡 3 地区 90 名 & 若者 PE60 名)

(ウ) 学校教師・伝統的リーダーへのオリエンテーション・フォローアップ会合の実施 (ルフワニャマ郡 3 地区 15 名、マサイティ郡 3 地区 15 名)

(エ) 学校教師・保健医療従事者による保護者へのオリエンテーションの実施 (ルフワニャマ郡 3 地区)

(オ) 若者 PE を対象にした女兒のエンパワメントワークショップ

(マサイティ郡 3 地区 30 名、ルフワニャマ郡 3 地区 30 名)

(カ) コミュニティ参加型ペインティングワークショップ・施設維持管理 & 開所式 (ルフワニャマ郡ミベンゲ地区)

(キ) 地域啓発活動計画の策定及び行動変容のためのコミュニケーション教材の供与・制作・配布 (紙芝居, パンフレット等)

(3) 持続可能なコミュニティ主体の活動支援に向けたモニタリング体制強化

(ア) プロジェクト地区運営委員会レビュー会合・フォローアップ会合開催

(マサイティ郡 3 地区+5 地区、ルフワニャマ郡 3 地区、ムポングウェ郡 5 地区)

(イ) 母子保健推進員及び若者 PE のレビュー会合

(マサイティ郡 3 地区、ルフワニャマ郡 3 地区)

(ウ) ワンストップサービスサイト運営会合 (ルフワニャマ郡ミベンゲ地区)

(エ) 自立発展性のための相互視察研修 (@ムポングウェ郡カルウェオ地区、マサイティ郡 3 地区、ルフワニャマ郡 3 地区)

■3 年次

(1) 保健施設で提供する若者や妊産婦を含む女性の生涯を通じた保健サービスの質の向上

(ア) 保健医療従事者への「質の向上を目指したヘルスマネジメント強化研修」(マサイティ郡 3 地区、ルフワニャマ郡 3 地区の保健医療従事者 12 名)

(2) 思春期、妊娠や出産、家族計画、乳がん・子宮がんを含む生涯を通じた女性の健康に関する知識と情報の啓発教育

(ア) 若者 PE を対象にした女兒のエンパワメントワークショップ

| | <p>(マサイティ郡 30 名、ルフワニヤマ郡 30 名)</p> <p>(イ) 学校教師・伝統的リーダーへの合同会合の実施 (ルフワニヤマ郡 3 地区 15 名、マサイティ郡 3 地区 15 名)</p> <p>(3) 持続可能なコミュニティ主体の活動支援に向けたモニタリング体制強化</p> <p>(ア) プロジェクト地区運営委員会レビュー会合開催 (マサイティ郡 3 地区、ルフワニヤマ郡 3 地区)</p> <p>(イ) 母子保健推進員及び若者 PE のレビュー会合 (マサイティ郡 3 地区、ルフワニヤマ郡 3 地区)</p> <p>(ウ) 自立発展性のための相互視察ワークショップの開催</p> <p>(エ) プロジェクト最終調査</p> <p>(オ) 最終成果共有ワークショップの開催</p> <p>対象裨益人口 (推定) :</p> <table border="1" data-bbox="432 734 1284 898"> <thead> <tr> <th></th> <th>マサイティ郡</th> <th>ムポングウェ郡</th> <th>ルフワニヤマ郡</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人口</td> <td>140,452 人</td> <td>105,000 人</td> <td>98,084 人</td> </tr> <tr> <td>0-24 歳</td> <td>68,541 人</td> <td>51,240 人</td> <td>19,616 人</td> </tr> <tr> <td>出産可能年齢の女性</td> <td>30,899 人</td> <td>23,100 人</td> <td>21,796 人</td> </tr> </tbody> </table> | | マサイティ郡 | ムポングウェ郡 | ルフワニヤマ郡 | 人口 | 140,452 人 | 105,000 人 | 98,084 人 | 0-24 歳 | 68,541 人 | 51,240 人 | 19,616 人 | 出産可能年齢の女性 | 30,899 人 | 23,100 人 | 21,796 人 |
|---------------------|---|-----------|----------|---------|---------|----|-----------|-----------|----------|--------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|
| | マサイティ郡 | ムポングウェ郡 | ルフワニヤマ郡 | | | | | | | | | | | | | | |
| 人口 | 140,452 人 | 105,000 人 | 98,084 人 | | | | | | | | | | | | | | |
| 0-24 歳 | 68,541 人 | 51,240 人 | 19,616 人 | | | | | | | | | | | | | | |
| 出産可能年齢の女性 | 30,899 人 | 23,100 人 | 21,796 人 | | | | | | | | | | | | | | |
| (4) 持続発展性 | <p>ザンビア保健省、州・郡保健局及び郡教育局、PPAZ と各関係機関の役割を明確にし、密な連携のもと、計画、実施、モニタリングし、事業の持続性のためのコミュニティを支えるモニタリング体制を強化する。人材育成は、郡保健局と協力し、保健医療従事者を指導者として育成することにより、保健医療従事者が母子保健推進員や若者ピア・エドューケーター (PE) を育成し、事業の終了後も政府が引き継いでいく体制を確立させる。また、郡保健局の監督・管理のもと、プロジェクト地区運営委員会が活動の継続性のためのコミュニティ活動計画策定を行う。さらに、企業や他分野との連携による取り組みを促進し、コミュニティ主体による収入創出活動などを通じて、事業の継続性、また郡保健局が主体となり、マタニティハウスやユースセンターなどの施設の維持・管理を行っていく体制を整える。</p> <p>本事業で行う若者や妊産婦を含む生涯を通じた女性の健康促進に関する取り組みについて、他地域でも汎用可能な母子保健推進員や若者 PE の教材などを含む女性の生涯の健康のためのパッケージを制作することにより、事業終了後も本事業の経験や仕組みが汎用・拡大していくことを目指す。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 期待される成果と成果を測る指標 | <p>上位目標 : 若者や妊産婦を含む女性の生涯を通じた保健サービス利用へのアクセスが増加する</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 保健施設で出産する女性の割合が 20%以上増加する ➤ 産前健診を 4 回受ける女性の割合が 15%以上増加する ➤ 産後 6 日以内・6 週間以内に産後ケアを受ける女性の割合が 15%以上増加する ➤ 十代による妊娠・出産の割合が 15%低減する <p>成果①プロジェクト地区における若者や妊産婦を含む女性の生涯を通じたサービスの質が向上する</p> <p>1.1 保健施設でサービスを利用した女性・若者の満足度が向上する</p> <p>成果②思春期、妊娠や出産、家族計画、乳がん・子宮がんを含む生涯を通じた女</p> | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | |
|--|---|
| | <p>性の健康に関する正しい知識と情報が地域住民に届く</p> <p>2.1 思春期保健、妊娠や出産、家族計画、乳がん・子宮がんを含む生涯を通じた女性の健康に関する正しい知識や情報を得た住民及び若者の数が年間2万人以上となる。</p> <p>2.2 パートナーの産前・産後・施設出産に付き添う男性が増加する</p> <p>2.3 出産計画カードを活用する女性が増加する</p> <p>2.4 月経にまつわる迷信・理解について正しい知識が向上する</p> <p>2.5 月経で学校を欠席した日数が減少する</p> <p>2.6 乳がん・子宮がんの相談件数が増加する</p> <p>成果③持続可能なコミュニティ主体の活動支援に向けたモニタリング体制が強化される</p> <p>3.1 プロジェクト地区運営委員会によるコミュニティ活動計画が策定される</p> <p>3.2 持続可能なコミュニティ主体の活動支援に向けたモニタリングが年2回行われる。</p> |
|--|---|

(ページ番号標記の上、ここでページを区切ってください)